

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
【発行日】令和 5 年 6 月 16 日(2023.6.16)

【公開番号】特開 2023-41857(P2023-41857A)  
【公開日】令和 5 年 3 月 24 日(2023.3.24)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-055  
【出願番号】特願 2023-14472(P2023-14472)  
【国際特許分類】

C 0 9 J 1 2 3 / 2 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

C 0 9 J 1 1 / 0 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

C 0 9 J 1 2 3 / 2 6

C 0 9 J 1 1 / 0 6

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 5 月 12 日(2023.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

酸変性ポリオレフィン(A)、多官能ポリイソシアネート硬化剤(B)および有機溶剤(C)を含有する接着剤組成物であって、

前記酸変性ポリオレフィン(A)は、プロピレン- - オレフィン共重合体に、 - - 不飽和カルボン酸及びその酸無水物の少なくとも 1 種をグラフトしたものであり、

前記酸変性ポリオレフィン(A)の酸価が 2 ~ 50 mg KOH / g-resin、アセトン抽出成分比率が 0.01 ~ 2 質量%であり、

30

前記酸変性ポリオレフィン(A) 100 質量部に対して、前記有機溶剤(C)を 110 ~ 2000 質量部含有し、

前記有機溶剤(C)が、溶剤(C1)と溶剤(C2)の混合液であって、溶剤(C1)が脂環族炭化水素溶剤であり、溶剤(C2)がケトン系溶剤であり、溶剤(C1) / 溶剤(C2) = 50 ~ 70 / 50 ~ 30 (質量比)である、

接着剤組成物。

【請求項 2】

前記酸変性ポリオレフィン(A) 100 質量部に対して、前記多官能ポリイソシアネート硬化剤(B)を 0.5 ~ 40 質量部含有する請求項 1 に記載の接着剤組成物。

【請求項 3】

40

ポリオレフィン樹脂基材と金属基材との接着に用いられる請求項 1 又は 2 に記載の接着剤組成物。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の接着剤組成物によって接着されたポリオレフィン樹脂基材と金属基材の積層体。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の積層体を構成部材とするリチウムイオン電池用包装材料。